

日吉津小学校グラウンド芝生化事業概要

1. 事業概要

グラウンド面積 9, 558 m²

内 芝生化面積 6, 924 m²・・・図面2の着色部分。

内 芝生化しない面積 2, 634 m²・・・図面2の白い部分。

内 野球内野 2, 223 m²

除く範囲は、少年野球のピッチャーマウンドの中心から半径 24.12m で描く扇形の範囲です。本塁 → 一塁 → 二塁 → 三塁を結ぶ、四角形の範囲だけではありません。また、それに接するベンチ側の範囲も、芝生化をしません。

内 周辺植栽付近 411 m² 県道沿い植栽、役場沿い植栽及び築山の範囲。

2. 事業費

1) H24 年度 工事費等及び維持管理費

測量設計、工事費、芝苗及び維持管理機器等購入費	14, 544 千円
財源 鳥取方式の芝生化事業（県補助金）	3, 150 千円
スポーツ振興宝くじ（toto 補助金）	8, 852 千円
一般財源（村費）	2, 542 千円

2) H25 年度以降 維持管理費

冬芝、肥料、燃料費、電気代等	700 千円
財源 スポーツ振興宝くじ（toto 補助金）（H25～26）	340 千円
一般財源（村費）（H27 以降は全額）	360 千円

3. 工事概要

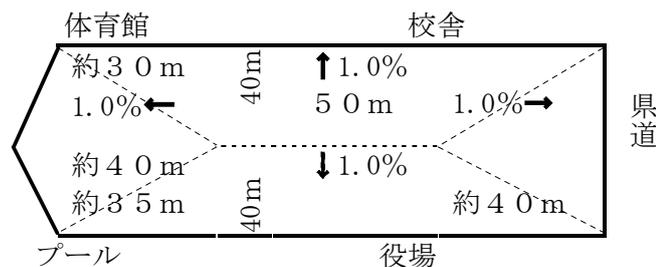
請負業者・・・(株)大協組

工期・・・H24. 5. 10～H24. 7. 10（グラウンド内の工事は、小学校運動会（H24. 5. 26）の翌日から芝生植付予定日（H24. 6. 24）の間。運動会が雨天順延すれば、工事開始もそのまま順延します。）・・・年間予定1 参照

1) 基盤整形・・・図面1 参照

現在のグラウンドの勾配は 0.5～0.6% です。中央部の排水は良いですが周辺に一部高い箇所や、勾配がない箇所があり水溜りが出来る箇所があります。

周辺の一部高い箇所を取り除き、グラウンド全体の勾配を 1.0% に整地します。周辺側溝に排水できるようにし、水溜りが出来にくくした上で芝生化を行います。



- ① 南側側溝に排水している、既設の暗渠排水 17 箇所（出口 8 m の間）をやり直します。西側と北側の側溝の縁に砕石暗渠を行い、グラウンド周辺に水溜りが出来にくくします。（東側の側溝は、従来より暗渠排水タイプの為今回はそのままです。）
- ② 南側の遊具付近の、一部盛り上がり草が生えている箇所の表土を剥ぎ取ります。また、体育館南側の、高木 7 本を外部へ移転し、周辺の高い土を剥ぎ取ります。グラウンド周辺の一部盛り上がった土を取り除き、水溜りが出来にくくします。
- ③ 土を 8 4 5 m³ 補足し、グラウンド全体を整地し、四方に勾配を取ります。
- ④ 南側の築山から体育館までの側溝の縁には、防草用に 30 c m 幅のコンクリートを打ち、草刈りの省力化を図ります。

2) 散水施設・・・図面 2 参照

維持管理の内、芝生の水やり作業を省力化するために、スプリンクラーを設置します。

- ① 掘りぬき井戸を設置し、地下水を散水します。
- ② タイマーにより施設利用のない夜間に自動散水します。また、雨を感知するレインセンサーを設置し、雨の日には散水しないようにします。
散水する金具（スプリンクラーヘッド）は、常時は芝生面より下に隠れており、散水時に水圧で約 1 0 c m 程度芝生面より出てきます。グラウンド使用時には邪魔になりませんし、引っかかって転倒等の恐れもありません。
- ③ ポンプ小屋は、南側の夜間照明柱の東側に設置します。・・・図面 3 参照

4. 芝生化・・・年間予定 1 参照

基盤整形、散水施設の工事が終わったら、6 月 24 日（日）午前中にボランティアにより、鳥取方式で芝生の苗を植え付けます。27, 700 株の苗は役場が用意します。
同日に肥料散布も行います。

5. 維持管理概要

1) 維持管理用の機械及び資材・・・役場で購入します。

乗用芝刈機	1 台	
自走芝刈機	1 台	
肩掛け草刈機	3 台	（フェイスシールド 3 個）
肥料散布機	1 台	
ガソリン缶	1 個	・・・芝刈機燃料として。450ℓ／年 随時補充
混合燃料缶	1 個	・・・肩掛け草刈機燃料として。80ℓ／年 随時補充
肥料（化成肥料 14-14-14	2, 080kg／年	随時補充
冬芝種子（インターメディアイグラス	277 kg／年	9 月末納入
以上を購入し、機械格納庫に格納します。・・・図面 4 参照 （機械格納庫は、プール南側の役場緑地に設置します。）		

2) 維持管理方法・・・時期、作業項目、回数等は、年間予定 1、2 参照

芝生は、3 c m 程度の長さで維持します。夏季は 1 週間で約 1 ～ 2 c m 伸びますので、毎週芝刈りを行います。

刈った芝は回収し、機械格納庫付近に集積後、児童農園の堆肥として利用します。

一回当たり、3 m³程度発生する見込みです。(実際に作業をしてみて、作業時間短縮方法の検討を行います。)

(1) 芝刈り作業等

機械等	人数	時間	作業内容
乗用芝刈機	1	2	遊具、植栽周辺以外の芝刈りをします。約7,000 m ² の芝刈り、回収で約2時間かかります。
自走芝刈機	1	1	乗用で対応できない、遊具周辺の芝刈りをします。約1時間程度を見込んでいます。
肩掛け草刈機	1	2	芝刈機で対応できない、植栽根元、遊具柱根元、飛び石状のタイヤ根元、外周側溝の縁の芝刈りをします。約2時間程度を見込んでいます。乗用、自走芝刈機の作業が終わったら、肩掛け草刈機の応援をお願いします。
機器類全体の準備、掃除、片付け	参加者全員	1	鍵の借受。機器準備。作業前打合せ(作業の安全確認)。作業終了後、グラウンド全体の確認。機器の掃除。機器の燃料を満タンにする。作業日誌の記載。鍵の返却。
計	3	3時間程度	下記作業がある場合でも、増員により同一作業時間内に終了する。
肥料散布機	1	1	年10回(1、2月除く)肥料散布します。H24のみ芝の植付後の7、8月は、概ね2週間に一回。手押しの肥料散布機で散布します。芝刈り作業と同時に行いますので、同作業人数に追加となります。(計4人)
冬芝の播種	1	1	毎年、10月の第2週頃(小学校の県小体連陸上の練習期間後)冬に備えて冬芝の種子を蒔きます。芝刈り、肥料散布作業と同時に行いますので、同作業人数に追加となります。(計5人)

(2) 雨天続き、行事前の芝刈り作業について

① 夏季に雨天のため作業が出来なくなった場合、芝刈りを2週間行わないとかなり芝が長くなります。グラウンド使用状態や、次回の芝刈りの作業効率も悪くなりますので、日曜日に関らず作業が必要です。

② 小学校の運動会、村の球技大会や運動会、盆踊り花火大会等事業前に芝刈りが必要な場合。

①、②の対応が必要な場合は、平日の夜に照明をつけての作業を想定しています。

(3) 芝の補植

年間予定表には記載していませんが、芝の育成状況の悪い箇所や芝が剥げてしまった箇所の補植が想定されます。

4～5月頃に自生している芝から、芝の苗作りを行い6月に補植作業が必要になる可能性があります。その面積や作業量については、その時期にならないと判断できませんので、作業が必要な場合はご協力をお願いします。

(4) グラウンドの利用制限・・・年間予定1、2参照

芝の植付後グラウンドが使えなくなることはありません。ズックでの使用は当日から使用可能です。但し、スパイクの使用制限期間はありますのでご協力願います。

(小学校、スポ少(野球・サッカー)、セリオは了解済み。))

- ① H24年度は初年度の為、芝植付以降3箇月間は、スパイクの使用を制限します。(6月24日～9月24日)
- ② 毎年、冬芝の播種後3週間は、スパイクの使用を制限します。(10月第2週の日曜日～11月第1週の日曜日まで)

(5) 燃料の補給、機器の不具合等

毎回の作業後に、作業日誌を記載していただきますが、特に重要な案件で早急な対応が必要な場合には、作業責任者から役場担当者へ電話連絡をお願いします。

(6) 保険について

役場が契約している、全国町村総合賠償補償保険で対応します。

◎ 賠償内容

- ① ボランティアによる、他者への損害賠償。(他者へのケガ、物損が対象。村の施設は対象外。)
- ② ボランティアのケガ等の補償。(ケンカ、既往疾病が原因、細菌性食中毒は対象外。)

◎ 要件

- ① 村の事業として、村が作業計画書を作成し、管理していること。
- ② 芝管理を行うボランティアを作業計画書に登録し、作業員名簿の管理を行うこと。
- ③ 作業日毎の作業内容、作業員名簿を作成し管理すること。
- ④ 所定の集合・解散場所、住居からの往復経路等を確定させておくこと。

(7) 維持管理費予算について・・・年間維持管理費用

項目	金額(千円)	内容
芝刈機、草刈機燃料	77	ガソリン450ℓ、混合油80ℓ
消耗品	60	草刈機替え刃等
肥料	208	化成肥料14-14-14 2,080kg
冬芝種子	172	インターメディアイグラス 277kg
電気代	81	散水用ポンプ
点検保守料、火災保険料	90	格納庫、機具類
計	688	約700千円

機械購入より5年経過後は、機械修繕料+芝刈機の刃の取替等の為 年50～100千円の増額が必要。